

平成28年度南富良野こざくら園事業実績報告書

第1 総括

平成28年度4月1日に施行した障害者差別解消法に伴い、障がいの有無に関わらず共生社会の実現に向けた暮らしやすい施設づくりと職員の意識の高揚を図りました。

また、ご利用者の権利を侵さないために、施設内外の研修を通じて正しい知識の習得を身に付け生きがいを持って豊かな生活が送れるよう権利擁護に遵守した取り組みを進めました。なお、複雑化・多様化した福祉サービスに応えるため人権の尊重を基本におき、意思決定支援を大切にするとともに、障がいの程度や身体機能に沿った生活支援の提供に努めました。

高齢化における身体機能の低下に伴い、介護技術の習得や健康管理が重要視されており、生活介護型の施設として求められる役割を担うとともに、健全な施設経営と生活支援の充実を図りながら一人ひとりのニーズに応えるよう努力しました。

なお、平成28年度は次の事項を重点にサービスの提供に努めました。

1 高齢化に伴う介護支援の実践

同法人の特別養護老人ホーム一味園に協力を得て、身体機能の状況に応じた介護技術の習得に向けた適切な支援の提供を目的に内部研修会を開催しました。介護の基本となるコミュニケーションの視点を学び、実践を図りながら施設での「ゆとりある暮らし」につなげ、生活の質の向上に努めました。

2 日中活動の検証及び更なる充実

ご利用者が生きがいや充実を得られる日中活動を実施するとともに、「働く」意欲の増進を図るため、課題を探り解決に向けた意見交換を行いました。ご利用者のニーズにあった活動意欲の向上を基本としたプログラムの充実を図り、喜びと目標達成感に対する意欲の向上を図りました。

3 個別支援の充実（集団から個人へ）

ご利用者の意思を尊重した個別支援を提供し、サービスが適切に提供されているか適宜検証を行い、必要に応じて見直しや変更を行いました。施設での生活に必要な力を高めるため幸福や長所等を探りながら、自信を持って暮らすことが出来るように配慮をしました。

4 職員間のコミュニケーションの活性化

日常業務や組織活動の基本となる「報告・連絡・相談」を的確に行い、状況に応じた迅速な対応を行いました。また、各種会議・委員会に対する参加者としての心得を身に付け集団規範の形成を図るとともに、風通しの良い職場環境づくりに心掛け職務の目標に向けたご利用者に対する適正な支援サービスを推進しました。

5 リスク管理意識の向上

危機管理・虐待防止委員会が中心となり、リスク管理意識の向上を目的とした内部研修会を開催しました。職場の課題形成に対する取り組みを行い、業務やご利用者支援に対する改善と緊急対応の必要性について情報を共有し、課題解決の向上を図りました。

6 生きがいを感じる日常生活

ご利用者個々のニーズを把握し、生き生きと生活出来る施設行事や個別での余暇活動を探り、笑顔の源を見つけることに着目しました。生きがいを感じる支援を提供し、明るく充実した一人ひとりの暮らしの充実に努めました。

第2 運営組織(平成29年3月31日現在)

(1) 職員配置

区 分	管理者	総務課	サービス 管理責任者	支援課	臨時	短時間	計
男 性	1	1	1	8	3	0	14
女 性	0	1	0	7	1	3	12
計	1	2	1	15	4	3	26

第3 ご利用者の状況(平成29年3月31日現在)

(1) 男女別

区 分	東 棟	西 棟	計
男 性	24	0	24
女 性	0	15	15
計	24	15	39

(2) 障がい程度別

区 分	てん かん	自閉 傾向	統 合 失調症	身 体 障がい	ダウ ン症	視 覚 障がい	聴 覚 障がい	言 語 障がい	心臓 疾患
男 性	11	16	1	2	0	1	0	5	0
女 性	4	2	4	1	2	0	2	2	2
計	15	18	5	3	2	1	2	7	2

(3) 障がい支援区分(平均障がい支援区分 5.51)

区 分	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男 性	0	0	0	0	2	8	14	24
女 性	0	0	0	0	1	5	9	15
計	0	0	0	0	3	13	23	39

第4 事業の内容

(1) 生活介護事業 定員：40名（現員 男性24名、女性15名 合計39名）

ご利用者が施設において日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、日中活動及び創作的活動の機会の提供その他の支援を適切に行いました。

(2) 施設入所支援 定員：40名（現員 男性24名、女性15名 合計39名）

生活介護のご利用者に対し、住まいの提供と夜間等における入浴、排せつ又は食事の支援等を適切に行いました。

(3) その他の事業

短期入所事業	・在宅において介護を行う方の事情等で、短期間の宿泊や施設利用が必要な方を受け入れ、支援を行いました。
--------	--

第5 運営実績

(1) 総務課

【総務課 総務係】

ご利用者の生活環境向上に伴う園舎の適正な環境保全と、安定した施設経営に努めました。

施設運営	・介護給付費及び各種加算の請求事務を適正に行い、安定的な施設運営に努めました。また、施設の中長期を見据えて施設内の整備や必要に応じたコスト削減を図る等、計画的な施設運営に努めました。
施設整備の充実	・ご利用者の重度化・高齢化に適応した施設保全管理を基本に効果的に園舎の機能診断と対策工事を行いました。 ・下記の改修及び備品等の整備を実施し、安全性や快適な生活が送れるように努めました。また、8月31日未明に発生した台風10号の影響による空知川上流の堤防決壊(水害)により、施設内外で被害を受けた箇所ので災害復旧工事を実施しました。 《主な施設改修・整備》 ・各箇所（中央廊下、街灯）LED電球入替工事 ・車庫(2連)設置工事 ・車輛の更新（日産セレナ） 《災害復旧工事》 ・西棟玄関災害復旧工事 ・作業棟玄関災害復旧工事 ・D型倉庫シャッター災害復旧工事 ・プレハブ移設災害復旧工事 ・園舎外構災害復旧工事 ・作業棟、D型倉庫外構災害復旧工事

食事サービスの向上	・ご利用者に対して定期的な聞き取りや嗜好調査を実施し、食に対する要望の把握に努め、食生活の質の向上に努めました。 ・給食業務委託業者と食事サービス会議等を定期に実施し、ご利用者の食事提供の調整や食堂及び厨房内の衛生管理の徹底を図り、安心・安全な食事の提供に努めました。 ・お菓子づくり教室を開催し、ご利用者のライフスキルを育む食生活の向上に努めました。
栄養管理体制の強化	・栄養ケアマネジメントを実施し、ご利用者の咀嚼及び嚥下の状態や日々の身体状況を踏まえて、定期的に他専門職と連携を図り適切な食事内容の検討を行い、ご利用者個々の健康管理に努めました。
防災体制の整備	・防災対策委員会が中心となり、ご利用者、職員に対して自然災害(火災、地震、停電)を想定した避難訓練を計画的に実施し、防災等における意識の向上に努めました。 ・水害を教訓とし、緊急災害時等において、ご利用者が安全な環境で生活ができるよう、迅速な情報共有の徹底に努めました。
資質向上と人材育成	・職員一人ひとりが年間業務目標を作成し、定期的に役職員等と面談の機会を設け、達成するための助言等を行う事で、働き甲斐のある職場環境の整備に努めました。 ・内外部研修会に積極的に参加し、専門職としての質の向上に努めました。また、内部研修会や施設独自の学習会等も実施し、ご利用者に対して質の高いサービスが提供できるよう資質向上に努めました。
個人情報の保護	・個人情報保護規程及び法人特定個人情報取扱規程に基づき、個人情報の取り扱いについて適正な管理に努めました。

(2) 生活介護事業：生活支援課

①【生活支援課・生活支援係】

個別支援計画の下で、各種サービスを提供し、可能な限り個々のニーズに配慮した生きがいのある暮らしづくりを目指しました。また、障がい特性に応じた適切な福祉サービスを提供し、生活の質の向上につながる生活支援に努めました。

個別支援の充実	・適宜ご利用者へのアセスメントを実施し、ご本人及びご家族のニーズ取り入れた個別支援計画を作成し、それに準じた支援を行いました。 ・定期的にカンファレンス会議やケース会議を実施し、個々のニーズに沿ったサービス内容について協議・提供する事で、個別支援の充実を図りました。
日中の支援	・ご利用者個々の日常生活の能力に応じた生活全般の支援を行いました。 ・日中活動において生産活動及び創作活動等、個々に合った活動を提供しました。
高齢者の支援	・ご利用者個々の健康状態や、ADLに配慮した潤いのある生活支援を提供しました。また、日中活動や余暇活動を通じて生きがいを得られるために、施設での福祉サービス提供に努めました。

生活環境の充実	・環境衛生委員会を定期に開催し、園舎内外の環境美化に努め、衛生面に配慮した生活環境を提供しました。
意思決定支援の充実 (自己選択の尊重)	・ご利用者が常に自己選択が出来る環境作りに努め、意思や意向等を反映させた支援サービスを提供しました。
施設行事	・ご利用者の健康状態や年齢等に配慮し、ニーズを踏まえた安全な行事を企画し意思の統一を図りました。 ・施設行事の他に、地域や町外の行事に関する情報を提供し、希望に応じて行事に参加して頂きました。
指定特定相談支援	・個々のご利用者に対する総合的な支援方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し、サービス等利用計画を作成しました。また、指定特定相談支援事業所と連携を図り、定期的なアセスメントやモニタリングを実施することで、相談支援の充実に努めました。
権利擁護の遵守 (虐待防止)	・新たに施行された障害者差別解消法を遵守し、ご利用者の安心且つ快適な日常生活の確保に努めました。 ・危機管理・虐待防止委員会を定期的に開催し、虐待防止に関する事例検討を行いました。また、権利擁護に対する関係法令を踏まえ内部研修会を実施し、人権侵害根絶に向けた意識の向上を図りました。 ・外部研修会の情報は復命研修等で周知・報告を行い、全職員に対する虐待防止における意識の統一を図りました。
介護技術の習得 (人材育成)	・同一法人の特別養護老人ホーム一味園との連携を図り、介護技術の習得と身体状況等に応じた適切な支援の提供を目的に内部研修会を開催し、ご利用者への介護に対する質の向上に努めました。 ・介護福祉士が中心となり、日常生活に必要な介護技術の習得に努めました。
リスク管理意識の向上	・ご利用者の安全な日常生活を確保するために、リスク管理意識の向上を目的とした内部研修会を実施しました。 ・危機管理・虐待防止委員会が中心となり、「ヒヤリ・ハット」事例の検証を行い、検討した事項については全職員に周知することで情報の共有と意識の統一を図り、その後の対策に反映しました。
余暇活動の充実	・ご利用者の希望を聞き取り、それらを反映した個別余暇行事を実施しました。 ・町内外の余暇行事に関する情報を提供し、地域における共生社会の実現を目指し、可能な限り参加しました。 ・地域のボランティアや他事業所と連携し、町民との交流や余暇並びに行事の充実に努めました。
ご家族との連携強化	・定期的にご家族へ連絡をすることで、情報の共有化を図りました。また、ご利用者個々の生活状況等について「報告・連絡・相談」を行い、良好な関係の形成に努めました。 ・随時ご家族宅への家庭訪問を実施し、交流を図る機会を設け信頼関係を築きました。
地域貢献活動	・園内外の行事を実施する際に、地域の社会資源やボランティアを活用しました。 ・主に地域でのボランティア活動等を行う事で、地域の方々と交流を図り良好な関係作りに努めました。

②【生活支援課・健康支援係】

ご利用者の健康状況を把握するとともに、医療機関と連携し疾病の早期発見・早期治療に努めました。

健康管理	・毎日、体調確認を行い健康度と体力について評価するとともに、ご利用者の健康支援に努めました。 ・定期健康診断と各種検診を実施し、ご利用者の健康管理を推進しました。
高齢者の健康維持	・高齢者の体力維持を図るために、ラジオ体操や軽運動を日中活動に取り入れました。また、必要に応じて処置を行い、身体ケアを実施し健康の増進に努めました。 ・嘱託医や協力医療機関と連携し、健康保持及び疾病の早期発見に努めました。 ・生活習慣病、高齢が要因となる疾病等について、看護師及び健康支援課職員が中心となり、定期的な学習会を開催しました。職員とご利用者間で理解を深め、健康増進に努めるとともに、高齢化に伴う健康面のリスク管理や疾病に関する意識の向上を図りました。
嚥下障害への取り組み	・嚥下調査を実施し、個々の咀嚼状況を定期的に確認することで、食事支援等における適切な栄養アセスメントに努めました。 ・看護師及び栄養士が中心となり、誤嚥予防対策に関する研修やアセスメントを実施することで、職員の知識向上と適切な食事支援に努めました。
感染症予防対策	・感染症流行時期において、ノロウイルス、インフルエンザウイルス対策として、感染の予防と衛生管理マニュアルに準じて対応しました。 ・看護師及び健康支援課職員が内部研修会等を開催し、職員間における予防対策や対応方法の徹底及び感染症の未然防止に努めました。 ・併せて環境衛生委員会を開催し、職員とご利用者間での感染症に関する情報の共有化と対応策の周知を図りました。

③【生活支援課・活動支援係】

生きがいのある日中活動を提供し、可能性を見出すことや潤いのある活動提供に心掛け心身ともにリフレッシュすることを目指しました。

日中活動支援の推進	・ご利用者の意向や障がい特性、並びに年齢等に応じた活動を提供しました。 ・町内でのイベントや販売活動等で、地域貢献や町民との交流に繋げました。 ・活動支援会議を開催し、ご利用者の活動状況、生産品等の販売について適宜協議しました。
生産活動	・農産物の圃場管理、収穫、販売を行いました。 ・各種農産物の播種及び苗の定値を進め、圃場において除草や中耕等の管理活動を行いました。天候不良により減産となりましたが、収穫できる喜びを味わいました。 ・各種印刷物について、顧客ニーズに合わせた印刷を行いました。 ・委託事業において連携を密にし、円滑な作業推進を図りました。 ・日中活動の内容について協議・検証し、必要に応じて活動班の体制整備を図りました。

創作活動	・ 個々の障がい特性に応じた個別活動を提供しました。 ・ 年齢、体力に合わせたレクリエーション活動を提供します。 ・ 健康保持、体力増進を目指した軽運動等を行いました。 ・ 充実した1日が送れる様、潜在的ニーズを汲み取った活動を推進しました。
------	--

④【生活支援課・地域移行科】

ご利用者の生きがいや地域貢献を含めた施設外訓練に対する支援を行いました。また、社会での暮らしに必要なスキル習得を目指し、地域移行に向けた取り組みを行いました。

地域移行の推進	・ 地域生活への移行を希望するご利用者に対して、地域生活（主にグループホーム）を目指したご利用者個々人の社会スキル及び意欲の向上に努めました。 ・ 将来を見据えた地域生活に必要なスキルの習得を目的とした個別支援計画を作成し、それに準じた支援を行いました。
---------	--

（３）ご利用者自治会の支援：虹の会

意見交換や地域の情報提供を行い、会員の考えを大切にしながら、主体的に各種事業や計画立案等の活動ができるように支援しました。

自治会活動の充実	・ 役員会を定期的に開催するとともに、会員の意見や要望を施設生活に反映しました。また、暮らしやすい環境作りに心掛け、ご利用者主体の取り組みの充実を図り事業の活性に繋げました。 ・ 意見交換や地域の情報提供を行い、ご利用者の考えを大切にしながら主体的に各種事業や計画立案等の活動ができるように支援しました。 ・ 各種行事、研修会等に参加し、生活の質及び地域移行に対する自立心の向上を図りました。 ・ 役員及び職員で定期的に意見交換を行い、ご利用者主体となる各種事業の取り組みが重要であることの学ぶ機会を設け、日常生活における更なる意欲の向上及び事業内容の充実を図りました。
----------	--

（４）家族の会事務局支援

各種事業・行事等の交流を通してご家族と連携し、相互理解を深めました。

（５）施設入所支援事業：生活支援課

【生活支援課・施設入所支援】

住まいの環境において、健康で主体性のある夜間での生活を送ることができるよう、適切な支援を行いました。

夜間の支援	・ ご利用者個々に応じ、夜間の生活に必要な支援を行いました。 ・ 夜間帯の時間は安心して過ごせる環境と、良好な睡眠環境を提供しました。
-------	--

第6 職員の研修、研究体制

1 関係機関の主催する各研修会等の参加は次の通りです。

研 修 事 業 名	参 加 職 員	参 加 延 人 数
北海道社会福祉協議会	園長、支援員	2名
北海道知的障がい福祉協会	園長、支援員	3名
北・北海道知的障がい福祉協会	支援員	2名
その他	サビ管、支援員	8名

2 施設主体による各研修会は次の通り実施しました。

研 修 名	開 催 回 数	参 加 職 員
新任者研修	5回（5月、7月、11月、1月、3月）	平成27～28年度採用職員
内部研修会	合同研修2回（7月、2月） こざくら園内部研修6回 （4月2回、6月、1月、3月2回）	80名
階層別研修	14回（5月、6月2回、6月2回、8月、10月、11月2回、12月2回、2月2回、3月2回）	119名（全職員対象・階層別）

第7 年間行事実績

平成28年度の年間行事実績は、別紙のとおりです。

主要事業等実施・計画概要報告書

【こぞくら園】

1. 在籍利用者（平成29年3月31日現在）

施設入所支援事業	男性24名、女性15名	計39名
生活介護事業	男性24名、女性15名	計39名

2. 事業実施概要

月	日	期 間	内 容
4 月	1 日（金）		辞令交付式
	4 日（月）		新任職員オリエンテーション
	9 日（土）		緑陽台歯科検診
	21 日（木）		施設間交流会
	24 日（日）		南富良野町長選挙
	28 日（木）		4 月誕生会
5 月	1 日（日） ～6 日（金）	6 日間	春季一時帰省
	10 日（火）		桜覧会
	11 日（水）		未帰省者外出1 班
	17 日（火）		未帰省者外出2 班
	18 日（水）		未帰省者外出3 班
	19 日（木）		合同避難訓練
	21 日（土）		家族の会役員会・合同研修会
	22 日（日）		消防立入検査
	26 日（木）		5 月誕生会
	29 日（日）		余暇外出（よしもとお笑いライブ鑑賞）
6 月	4 日（土）		すずらんの会（横田清二さん、坂本千晶さん） 前期定期健康診断
	5 日（日）		南富良野小学校運動会参加・見学
	7 日（火）		プロ野球観戦（札幌市）、交通安全教室
	9 日（木）		春季買い物外出1 班
	11 日（土）		未帰省者外出4 班
	12 日（日）		プロ野球観戦（旭川市）
	13 日（月）		未帰省者外出5 班
	15 日（水）		春季買い物外出2 班
	18 日（土）		北・北海道知的障がい福祉協会ソフトボール大会 野外バイキング
	21 日（火）		春季買い物外出3 班
	23 日（木）		春季買い物外出4 班
	24 日（金）		春季買い物外出5 班
	28 日（火）		北・北海道知的障がい福祉協会パークゴルフ大会 6 月誕生会
7 月	2 日（土）		第36回スポ・レク交流会、家族の会総会
	6 日（水）		ご利用者自治会交流会（北の峯学園）
	9 日（土）		南富良野高校パフォーマンス
	10 日（日）		参議院議員選挙
	19 日（火）		普通救命救急講習
	20 日（水）		7 月誕生会、大正琴演奏会
	21 日（木） ～22 日（金）	2 日間	道内一泊旅行1 班（層雲峡方面）
	23 日（土）		ふくしあ夏祭り見学、ボランティア参加
	26 日（火）		余暇活動（ダンス教室）、春季買い物外出6 班
	28 日（木）		春季買い物外出7 班
	30 日（土）		北海道手をつなぐ育成会旭川大会（高岡正紀さん）
	31 日（日）		かなまや湖湖水祭り

8月	1日(月)		春季買い物外出8班
	3日(水)		春季買い物外出9班、一味園盆踊り
	4日(木)		春季買い物外出10班、余暇活動(プロレス観戦)
	12日(金) ～18日(木)	7日間	夏期一時帰省
	15日(月)		未帰省者焼肉会
	17日(水)		未帰省者外出1班
	18日(木)		未帰省者外出2班
	19日(金)		未帰省者外出3班
	23日(火)		南富良野町福祉スポーツ大会
	25日(木)		花火大会、みんなアート展見学
	26日(金)		すずらの会役員会(坂本千晶さん)
	29日(月)		8月誕生会、夜間避難訓練
9月	17日(土)		余暇外出(スイーツ外食)
	18日(日)		余暇外出(スイーツ外食)
	28日(水)		9月誕生会
10月	12日(水)		秋季買い物外出1班
	17日(月)		秋季買い物外出2班
	14日(金) ～15日(土)	2日間	すずらの会(坂本千晶さん)
	19日(水)		後期定期健康診断
	20日(木)		家族の会臨時総会
	24日(月)		秋季買い物外出3班
	25日(火) ～26日(水)	2日間	道内一泊旅行2班(定山溪方面)
	27日(木)		陸上自衛隊上富良野駐屯地曹友会演奏会
	28日(金)		10月誕生会
	29日(土)		余暇外出(さだまさし復興コンサート)
11月	3日(木)		南富良野町復興祭
	10日(木) ～11日(金)	2日間	道内一泊旅行3班(定山溪方面)
	14日(月)		余暇外出(演劇鑑賞)
	15日(火)		秋季買い物外出4班
	16日(水)		秋季買い物外出5班
	18日(金)		秋季買い物外出6班
	21日(月) ～22日(火)	2日間	道内一泊旅行4班(芦別方面)
	24日(水)		秋季買い物外出7班
	25日(金)		11月誕生会
	29日(火)		お菓子作り教室
12月	3日(土) ～9日(金)	7日間	障害者記念週間・作品展示
	6日(火)		映画鑑賞会
	9日(金)		秋季買い物外出8班
	20日(火)		クリスマス会
	27日(火)		12月誕生会
	30日(金) 1月～4日(水)	6日間	冬季一時帰省
1月	1日(日)		初詣
	5日(木)		小田島春美さん入所
	7日(土)		コーヒーショップ「りとる」リニューアルオープンセレモニー
	10日(火)		未帰省者外出1班
	13日(金)		婦人科検診
	20日(金)		未帰省者外出2班
	26日(木)		1月誕生会
	30日(月)		本部町交流事業(獅子舞)
	31日(火)		余暇活動(町外外食1班)

2月	3日(金)		節分
	7日(火)		余暇活動(町外外食2班)
	9日(木) ～10日(金)	2日間	道内一泊旅行5班(釧路方面)
	10日(金)		余暇活動(町外外食3班)
	21日(火)		余暇活動(町外外食4班)
	23日(木)		2月誕生会
	24日(金)		除雪ボランティア参加
	27日(月)		夜間避難訓練
	28日(火)		余暇活動(町外外食5班)、お菓子作り教室
3月	1日(水)		胃がん検診
	2日(木)		アート展見学(旭川市)
	3日(金)		ひな祭、アート展見学(旭川市)
	12日(日)		バーサーロペット参加(旭川市)
	16日(木)		お疲れさん会
	23日(木)		3月誕生会
	27日(月)		お菓子作り教室

3. 短期入所利用状況

窪田貞義さん	平成28年8月12日～15日、12月30日～平成29年1月2日
--------	---------------------------------